

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援室STEP			
○保護者評価実施期間	2026/3/2		～	2026/3/21
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	2026/3/23		～	2026/3/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026/4/15			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが充実して過ごせるよう、環境に配慮している。	利用者の発達状況や好み等を細かく把握し、活動設定を行ったり、一人ひとりが適切に時間を過ごせるよう目を配り、環境づくりに配慮している。	活動に応じて室内の環境調整を図ることなど、支援における環境調整の重要性を職員間で共有する。 室内での余暇時間を適切に過ごすうえで、あるといいと思われる教材・おもちゃなどを整備する。
2	こどものその日の様子・活動内容などについて、保護者に分かりやすいよう伝えるようにしている。	当日の活動報告書・連絡帳などを活用したり、送迎時口頭で必ず伝えるようにしている。気になることがあれば、電話等で保護者と共有するようにしている。 所内での様子が分かりやすいよう、活動の様子を撮影した写真を1ヶ月毎にまとめて保護者に共有している。	職員間で意識にばらつきがあるため、定期的に声をかけ、意識を高めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	サービスが不十分な点がある。利用のご希望をいただいても受け入れが難しいことがある。	職員数が少なく、送迎や延長への対応が難しい。そのことで、利用のご希望をいただいても対応できないことがある。	職員が確保できるよう、採用活動に力を入れる。 現状の体制でできるサービス拡充は無いか検討する。
2	活動プログラムのバリエーションが少なく、活動内容が固定されやすい。	活動内容の計画をスタッフに任せしており、管理者や児発管などがより関与すべき。 きょうだい児や地域住民なども参加できるイベントが企画できていない。	職員間の話し合い、研修などをとおして、新規の活動プログラムを増やす努力をする。 様々な人が参加できるイベントを企画する。
3	1か月の予定が分かりにくく、利用予約をしにくいという声がある。	活動報告や月の予定などについての発信が不十分。	児童発達支援と合同で月だよりを作成し、保護者に配布する。 月予定や月のテーマなどを設定し、月間予定表を配布する。